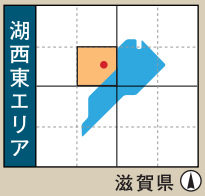
史跡
県指定

大溝藩分部家墓所

おおみぞはんわけべけぼしょ

高島町勝野　平成4年3月31日指定



分部家墓所のある勝野は、景勝の地として名高く、万葉集などの古歌にその名をとどめます。また、北陸方面への物資の陸揚げ地としても、古くから栄えました。大溝藩分部家は、江戸時代を通してこの地域を支配した近世大名で、その墓所は菩提寺円光寺の境内にあります。

当時のできごと	
1578年	上杉謙信没す
1619年	伏見城を廃す 福島正則改易
1869年	戊辰戦争終結

大溝藩分部家

大溝藩の置かれた地は、古くは「勝野（かつの）」と呼ばれていましたが、中世に高島氏が館を構え、大溝と地名を改めました。天正6年（1578）織田信澄は新庄城（新旭町）をここに移し、大溝城を築城しますが、今は、大溝城の天守台の石垣が残るのみです。

大溝藩分部家は、元和5年（1619）に分部光信が、伊勢上野から転封され、2万石を領したことに始まり、11代光貞が、明治2年（1869）に廃藩置県を待たず、藩籍を奉還した時にその歴史を閉じます。墓所のある萬松山円光寺は、分部家の転封時に、上野城下から共に移ってきた寺院です。



分部家墓所と円光寺

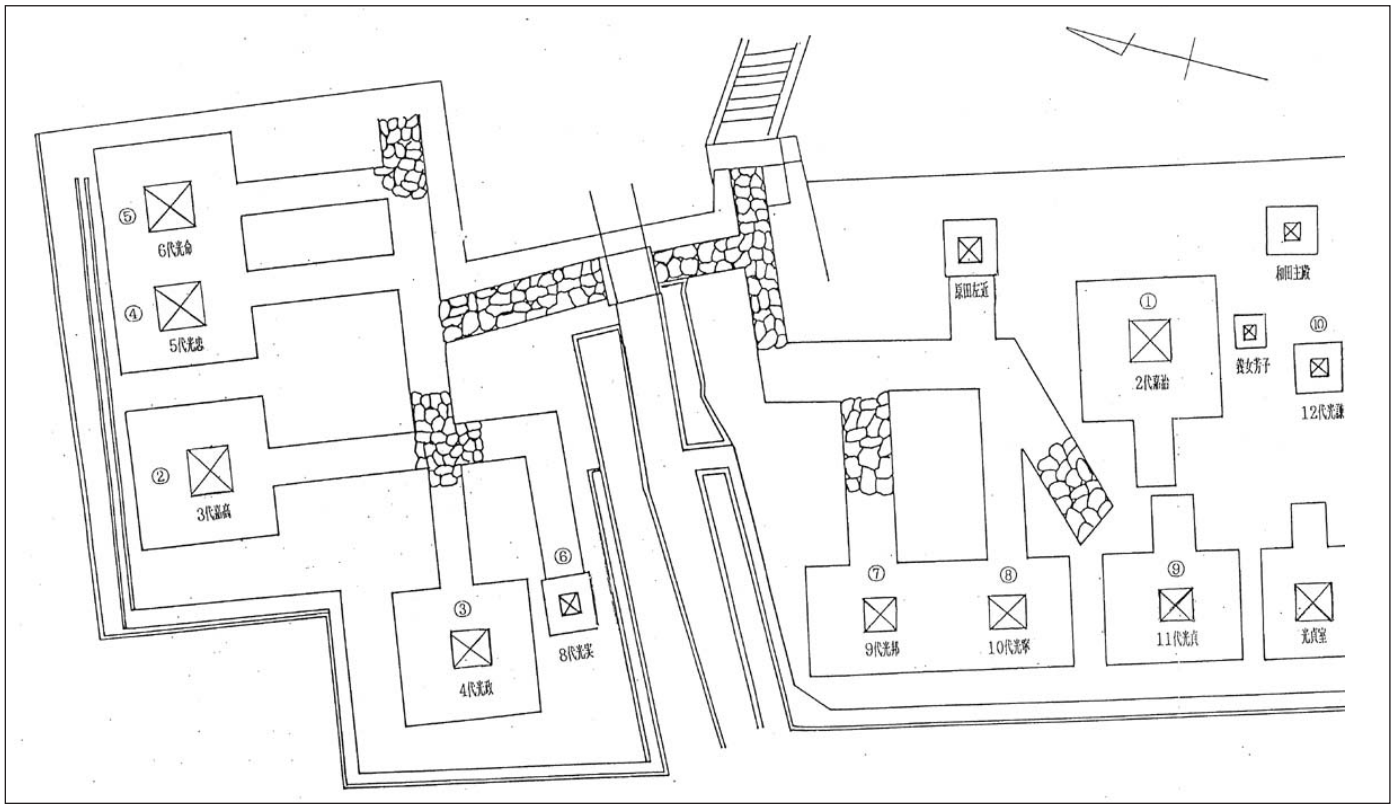


分部家墓所3代、5代、6代

分部家墓所

墓所は、境内の石垣と板塀に囲まれ、その面積は約370㎡あります。墓域内には京都で没した初代光信、江戸で没した7代光庸を除く五輪塔8基と墓標1基、二代藩主嘉治に殉死した家臣3名の墓標、さらに解藩後に没した分部家関係者の墓標など15基の石塔により構成されます。

分部家墓所は、江戸時代を通した一藩の歴代藩主の墓をたどることにより、大名家の墓制や宗教観、あるいは儒教に基づく主従関係の実態を知る上で大切です。また、五輪塔の形の変化を追うことができ、この変遷を考える資料としても貴重です。



分部家墓所測量図



分部家墓所3代、4代、5代、6代、8代

関連する文化財

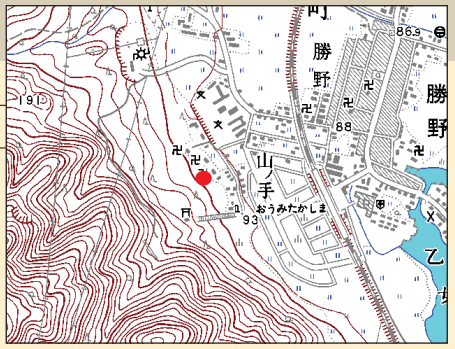
大溝城跡（高島町）	もとは、信長の命により造られた城郭で、内湖を利用した水城であった。後、大溝藩の居城
安土城跡（安土町）	学習シートNo.002
打下城跡（高島町）	大溝城の詰めの城的な存在。北陸街道、琵琶湖を見おろす山上にある。信長の高島平定の拠点

もっと深く知りたい

高島町歴史民俗資料館　☎0740-36-1553　高島郡高島町鴨2239

安土城考古博物館　☎0748-46-2424　蒲生郡安土町下豊浦6678

大溝藩分部家墓所へのアクセス　JR湖西線　近江高島駅下車



【参考文献】〔滋賀県埋蔵文化財調査年報〕滋賀県教育委員会

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　平成16年3月